

平成 20 年 3 月 27 日

三菱商事株式会社
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
三菱UFJ証券株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行

投資ファンド運営会社の共同設立および 投資ファンドへの有限責任組合出資に関するお知らせ

三菱商事株式会社（取締役社長：小島順彦、本社：東京都千代田区）と株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（取締役社長：畔柳信雄、本社：東京都千代田区、以下MUFG）の子会社である三菱UFJ証券株式会社（取締役会長：五味康昌、本社：東京都千代田区）は、4月上旬を目処に、共同で投資ファンドを組成・運営する会社を設立（出資比率：三菱商事 50%、三菱UFJ証券 50%）することに致しました。また、三菱商事とMUFGの子会社である株式会社三菱東京UFJ銀行（頭取：畔柳信雄、本社：東京都千代田区）、及び三菱UFJ証券は、同投資ファンド運営会社が投資事業有限責任組合形式で組成予定の投資ファンドに対して、有限責任組合員として出資を行う予定です。

投資ファンドの総額は 1,000 億円規模で、投資期間は 5 年、ファンド期間は 10 年を予定しております。投資ファンド運営会社は、4 月中に営業を開始する予定です。

三菱商事は、金融事業強化のため 2007 年 4 月に新産業金融事業グループを発足し、総合商社の強みを生かしたバイアウト投資事業を今後の事業展開の柱の一つとして考えています。一方、MUFG グループは、投資銀行業務の一層の進展を目指し、CIB ビジネス（CIB: Corporate & Investment Banking）を中核ビジネスの一つとして明確に位置づけ、銀行と証券の連携を高める戦略を進めています。その中で、今般、両社の投資事業に関する戦略が一致し、共同で投資事業を行うこととなりました。

この投資ファンド運営会社は、主に国内企業、事業分野が有する、業界再編、ノンコア事業分離、成長資金、共同投資等に伴う資金ニーズに、普通株式、優先株式、新株予約権付社債、劣後債等の様々な投資手法を用いて応えます。また、三菱商事が有する幅広い事業ネットワーク・ノウハウと、三菱東京UFJ銀行及び三菱UFJ証券を含むMUFGグループの堅固で広範な顧客基盤・高い金融ソリューション力を組み合わせることで、幅広い持続的企業価値向上策等を提供します。その上で、投資先企業の経営陣と強く安定的な信頼関係を築くことにより、投資先企業が本来有する潜在的な価値や力を実現し、投資リターンの獲得を目指します。

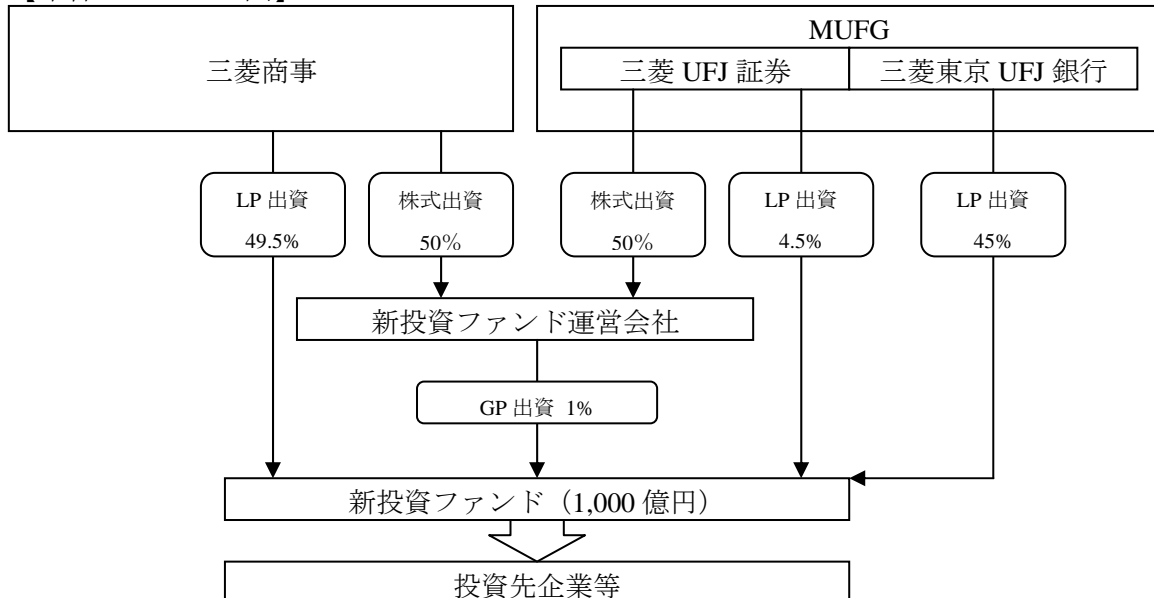
【新投資ファンド運営会社の概要】

項目	内容
商号	未定
代表者	未定
所在地(予定)	東京都千代田区
資本の部(予定)	10 億円
株主構成	三菱商事株式会社 50%、三菱 UFJ 証券株式会社 50%
主な事業内容	投資事業有限責任組合財産の運用・管理および助言業務
設立年月日 (予定)	平成 20 年 4 月
営業開始日 (予定)	平成 20 年 4 月

【新投資ファンドの概要】

項目	内容
名称	未定
組成時期(予定)	平成 20 年 4 月
出資約束金総額(予定)	1,000 億円
無限責任組合員 (GP)	新投資ファンド運営会社
有限責任組合員 (LP)	三菱商事株式会社 株式会社三菱東京 UFJ 銀行 三菱 UFJ 証券株式会社

【本件のスキーム図】



以上